平成２７年度　研究成果公開促進費（国際情報発信強化）の応募書類の作成方法等について

独立行政法人日本学術振興会
研究事業部研究助成第二課
成果公開・普及係

計画調書「審査希望分野（番号）」について
（別冊②記入要領２頁／参考資料２７頁（2-1・2-2））

【記入例】

平成27年度　国際情報発信強化　計画調書

〒 ○○○ － ○○○○

2 応募団体
所 在 地　東京都千代田区霞が関○－○－○

3 応募団体
名　称　○○法人　○ ○ 学 会

4 応募者（ふりがな ○○○○○○○○）
職名・氏名　会 長　○ ○ ○ ○　印

5 連絡・照会先　電話（03 － ○○○○ － ○○○○ 内線 ○○○）
FAX（03 － ○○○○ － ○○○○）
e-mail（00000@000－u.ac.jp）

所属・職名・氏名（ふりがな）：

1 審査希望分野	■ 人文・社会系
	■ 理工系
	□ 生物系

6　取組の名称	○○○○の○○による○○○の取組
7　学術刊行物の名称	Journal of Gakujyutsu

応募課題がどの専門分野にて審査を希望するのかを記入する非常に重要な欄になります。

計画調書「審査希望分野」について
（別冊②記入要領２頁／参考資料２７頁（2-1））

平成２７年度 研究成果公開促進費 審査希望分野表Ⅰ

審査希望分野を選択

参考となる関連専門分野を確認

	国際情報発信強化
審査希望分野	参考となる関連専門分野
人文・社会系	哲学　文学　言語学　史学　人文地理学・文化人類学　法学　政治学　経済学　経営学
	社会学　心理学　教育学　　等
理工系	数物系科学　化学　工学　　等
生物系	生物学　農学　医歯薬学　　等

計画調書「審査希望分野」について
（別冊②記入要領２頁／参考資料２８頁）

選択した希望分野が「１つ」の場合	審査希望分野の「□」を黒で塗り潰してください
選択した希望分野が「複数」の場合	「広領域応募」となるので、審査希望分野の中の該当する分野の「□」をそれぞれ黒で塗り潰してください

計画調書「応募団体所在地」～「連絡・照会先」について（別冊②記入要領２頁）

【記入例】

平成27年度　国際情報発信強化　計画調書

1 審査希望分野	■ 人文･社会系
	■ 理工系
	□ 生物系

〒 ○○○ － ○○○○

2 応募団体 所 在 地　東京都千代田区霞が関○－○－○

3 応募団体 名　称　○○法人　○ ○ 学 会

4 応募者 職名･氏名（ふりがな ○○○○○○○○）　会 長　○ ○ ○ ○　印

5 連絡･照会先　電話(03 － ○○○○ － ○○○○ 内線 ○○○)
FAX(03 － ○○○○ － ○○○○)
e-mail(00000@000－u.ac.jp)
所属･職名･氏名（ふりがな）:

6　取組の名称	○○○○の○○による○○○の取組
7　学術刊行物の名称	Journal of Gakujyutsu

必ず連絡が取れ、責任をもって回答できる連絡先を記入してください。

応募団体の「職印」を使用してください。

計画調書「応募区分」について（別冊②記入要領２頁）

応募可能な「応募区分」
国際情報発信強化（A）　：種別Ⅰ
国際情報発信強化（B）　：種別Ⅰ・Ⅱ
オープンアクセス刊行支援：種別Ⅰ

8 応募区分	■ 国際情報発信強化(A)　□ 国際情報発信強化(B)　□ オープンアクセス刊行支援

12　種別	■ 種別Ⅰ（英文率100%）　□ 種別Ⅱ（英文率100%未満）
13 「種別Ⅰ」を選んだ場合で、英文以外の外国語の場合、使用する言語及びその理由	
○○○文学の研究であり、研究対象の言語、○○○語で研究内容を発表することが慣例であるため。	

種別Ⅱ（英文率１００%未満）：原則として人文・社会科学領域における取組を対象とし、和文の原著論文の全てについて、英文の研究抄録又は翻訳を有するものとします。

「種別」により応募可能な「応募区分」が異なります

計画調書「重複応募の有無」「単年採択の有無」について（別冊②記入要領２頁）

9　重複応募の有無	□ 有 ■ 無	「学術定期刊行物」又は「国際情報発信強化」の継続課題の課題番号	
10　単年採択の有無	■ 有 □ 無	単年採択課題の課題番号	○○○○○○

「学術定期刊行物」又は「国際情報発信強化」の継続課題がある場合は「有」の「□」を黒で塗りつぶし、その課題番号を記載してください。

平成２６年度以前に「国際情報発信強化」を単年で採択された課題がある場合は「有」の「□」を黒で塗りつぶし、その課題番号を記載してください。

計画調書「国際情報発信強化の取組の概要」について（別冊②記入要領２頁）

14　国際情報発信強化の取組の概要
本欄には、取組内容の特徴と目的、意義及び方法について、今回の取組における新たな点を、これまで行ってきた取組を踏まえつつ明確に記述して下さい。前年度以前に単年で採択された実績がある場合には、当該補助事業においてどのような取組をしたかについて併せて記述してください。

「１０　単年採択の有無」に「有」とした場合、単年の事業でどのような取組をしたかについて併せて記述してください

計画調書「国際情報発信強化の取組の実施計画・方法」について（別冊②記入要領６頁）

16　国際情報発信強化の取組の実施計画・方法

（複数の学術団体等で協力体制をとって国際情報発信強化を行うための取組を行う場合の、団体名と団体数）

〇〇〇〇〇〇学会、〇〇〇〇〇〇協会

（計:　　団体）

複数の学術団体等で協力体制をとって国際情報発信強化を行うための取組を行う場合は、それぞれの団体名、どのような協力体制をとって行うか役割等も含め、具体的に記述してください。

なお、単独の学術団体等のみで行う場合は団体数のみ「０」と記入してください。

計画調書「重複応募をしている取組内容との相違点」について（別冊②記入要領１０頁）

18　**重複応募をしている取組内容との相違点**

本欄には、重複応募した取組内容とどのように違うのか、具体的かつ明確に記述してください。

「９　重複応募の有無」に「有」とした場合、一つの学術団体等もしくは複数の学術団体等で協力体制をとる団体等として、本応募の取組内容が重複応募した取組内容と、どのように違うのかが明確になるように記述してください

「学術定期刊行物」の継続事業課題のある場合は、本応募の取組内容との関係を点線の下に記述してください。

なお、「国際情報発信強化」と「学術定期刊行物」は別の制度なので、重複して応募することはできますが、支出項目は重複することがなく事業を実施する必要があることに注意して、①本応募は「学術定期刊行物」と重複する内容が含まれているので、「学術定期刊行物」を辞退する、又は②本応募の内容は経費面を含めて「学術定期刊行物」と重複することがないので、並行して事業を実施する、といった内容を併せて記述してください。

計画調書「補助要求額」について（別冊②記入要領１２頁）

19 補助要求額	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	千円 9,500	千円 8,700	千円 9,500	千円 8,700	千円 9,500

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
明細	(1) ○○○○経費	千円 5,000	千円 5,000	千円 5,000	千円 5,000	千円 5,000
	(2) ○○○○経費	千円 1,000	千円 1,000	千円 1,000	千円 1,000	千円 1,000
	(3) ○○○○経費	千円 1,000	千円 200	千円 1,000	千円 200	千円 1,000
	(4) ○○○○経費	千円 2,000	千円 2,000	千円 2,000	千円 2,000	千円 2,000
	(5) ○○○○経費	千円 500	千円 500	千円 500	千円 500	千円 500
	(6)	千円	千円	千円	千円	千円
	(7)	千円	千円	千円	千円	千円

区分	応募総額（※１）
国際情報発信強化（Ａ）	２，０００万円以上
国際情報発信強化（Ｂ）	１００万円以上 ２，０００万円未満
オープンアクセス刊行支援（※２）	２，０００万円以上

応募総額が条件を満たしているか注意してください。誤った補助要求額を記載すると審査に付されない場合があります。

計画調書「年度及び会計期間」及び「発行事業に関する支出・収入」について（別冊②記入要領１６頁）

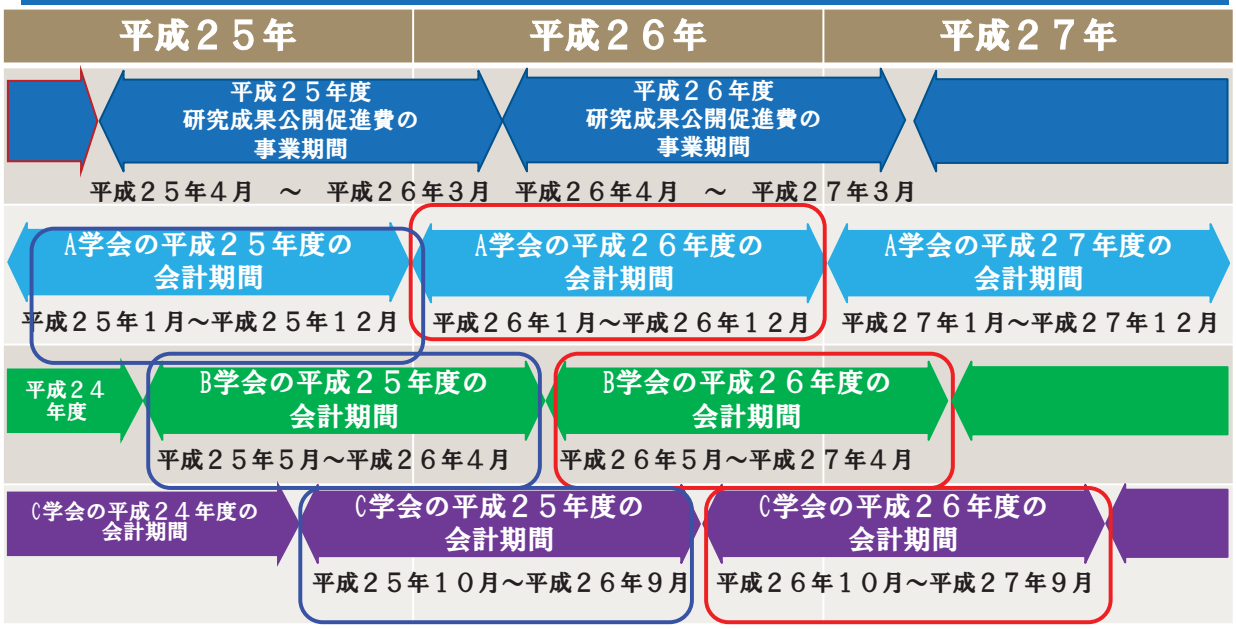
※記入要領１６頁は、前ページまでの「国際情報発信強化」の取組に関する具体的内容とは別に、今回応募の学術刊行物の発行事業全体における会計状況を把握するために記載を要するページです。

21 年度及び会計期間		平成25年度 4 月～ 3 月	平成26年度 4 月～ 3 月	平成27年度 4 月～ 3 月
22 発行事業に関する支出	年度	平成25年度実績	平成26年度見込み	平成27年度見込み
	欧文校閲費	1,000 千円	2,000 千円	2,000 千円
	別刷費	100 千円	100 千円	100 千円
	編集委員経費	1,000 千円	2,000 千円	2,000 千円
	編集委員会旅費	300 千円	300 千円	300 千円
	電子ジャーナルプラットフォーム利用費	0 千円	0 千円	5,000 千円
	海外委員を含む編集委員会開催費	0 千円	0 千円	1,000 千円
	広告・宣伝費	0 千円	0 千円	500 千円
		千円	千円	千円
		千円	千円	千円
		千円	千円	千円
		千円	千円	千円
		千円	千円	千円
		千円	千円	千円
	合計	千円 2,400	千円 4,400	千円 10,900
23 発行事業に関する収入	年度	平成25年度実績	平成26年度見込み	平成27年度見込み
	補助要求額	0 千円	1,800 千円	2,500 千円
	Web購読料収入	0 千円	300 千円	1,000 千円
	刊行物売上収入	700 千円	800 千円	1,000 千円
	刊行物広告料収入	700 千円	800 千円	2,900 千円
	論文掲載料	600 千円	700 千円	3,500 千円
	会費収入から組み入れ	400 千円	0 千円	0 千円
		千円	千円	千円
		千円	千円	千円
		千円	千円	千円
		千円	千円	千円
		千円	千円	千円
		千円	千円	千円
	合計	千円 2,400	千円 4,400	千円 10,900

学術団体等で承認する収支決算書や予算書等の金額に基づき記述してください

「平成25年度実績」及び「平成26年度見込み」の欄には、交付されている研究成果公開促進費を記入し、平成27年度以降には要求額を記入してください。

計画調書で記載する各学会の会計期間について



- **直近の完了した決算書を基に、計画調書等を作成してください。**
  平成２６年度見込みは赤で囲んだ期間を対象とします。
  平成２５年度実績は青で囲んだ期間を対象とします。

計画調書「その他の審査資料」の未提出理由について（別冊②記入要領１６頁）

＊「その他の審査資料」の未提出理由（提出できないもの「□」を黒で塗りつぶすと共に、その理由を記入すること。）

- □ 学会等会則
- □ 投稿規程
- □ 最新年度決算書
- ■ レフェリー制等の規程

（平成27年4月に制定予定であるため。）

※未提出理由を記載のこと

「未提出理由」の記入がなく、
提出されていない審査資料がある

↓

審査に付すことができなくなります

応募カードの作成に当たっての注意点について①（参考資料９頁）

応募カードは「審査資料」の作成に使用する**重要な書類**です。

- 未記入・記入ミスがあると、**審査に付されない**可能性があります。
- 計画調書からの転記ミスがあると、**誤った情報のまま審査に付される**可能性があります。

応募カードの作成に当たっての注意点について②（参考資料１１頁）

平成27年度　国際情報発信強化　応募カード

（応募カード作成・記入要領に基づき記入してください。）

応募者職名・氏名（記名押印又は署名）

会長　学　術　花　子　　印

※　郵便物等送付先（書類送付の際の宛名シールの基本となります。）

（1）郵便番号

1	2	3	－	4	5	6	7

（2）住　所

○	○	県	△	△	町	大	字	◇	◇										
字	☆	☆	☆	☆	1	5	2	2	－	3									

（3）宛　名

○	○	大	学		文	学	部		英	文	学	科							
△	△	研	究	室															
学	振		太	郎															

1　審査希望分野【計画調書1】

（希望する分野に○を記入）

○ 人文・社会系　　理工系　　生物系

応募カードの作成に当たっての注意点について③（参考資料１１頁）

6　応募区分【計画調書8】

区分：　1. 国際情報発信強化(A)　2. 国際情報発信強化(B)　3. オープンアクセス刊行支援

1（対応する番号を記入）

10　種別【計画調書12】

種別：　1. 種別Ⅰ(英文率100%)　2. 種別Ⅱ(英文率100%未満)

1（対応する番号を記入）

種別をもとに、以下の表で、選択した応募区分に誤りが無いかを確認してください。

区分	種別
国際情報発信強化（Ａ）	種別Ⅰ
国際情報発信強化（Ｂ）	種別Ⅰ・Ⅱ
オープンアクセス刊行支援	種別Ⅰ

応募カードの作成に当たっての注意点について④（参考資料１２頁）

区分	応募総額
国際情報発信強化（Ａ）	２，０００万円以上
国際情報発信強化（Ｂ）	１００万円以上 ２，０００万円未満
オープンアクセス刊行支援（※２）	２，０００万円以上

※応募総額が各区分の範囲内でない場合は公募の対象外になります。

また、計画調書からの転記ミスにご注意ください。

応募カードの作成に当たっての注意点について⑤

当会ホームページに掲載されている応募カード（Excelファイル）を必ず使用してください。

なお、使用する際はExcelの「マクロ機能」を「有効」にしてください。

各種応募書類の提出にあたって

応募書類の提出期間：
　１１月１０日（月）～１１月１４日（金）

応募書類の提出後は、**「差し替え」「再提出」**はできませんので、必要書類・必要部数を必ずご確認ください。